

中学校区の特徴

- ・新たに編成された校区で新たな伝統を作る地域
- ・基本的な生活習慣と学習習慣を大切にする地域
- ・学びに対する期待の高い地域

目指す 15 歳の姿

- ・基礎、基本の学習を身に付け、自ら考え実行する生徒
- ・自他ともに理解し、規範意識をもって行動しようとする生徒
- ・心と身体を鍛え将来への夢や希望をもつ生徒

1 目指す 15 歳の姿の具現化に向けた取組

「目指す 15 歳の姿」の実現に向けて策定した「目指す 12 歳の姿」を念頭に置きながら、6 月 5 日（水）と 10 月 30 日（水）に校區別協議会を行い、授業を公開し分科会での検討を加え、「指導の重点と目指す姿との関わり」と「ICT、特にタブレットの活用を図る」ことについて研究を深めてきた。6 月は光が丘第三中学校、10 月は光が丘第八小学校を会場として全クラスの授業を公開し、教科ごとに実践を共有する場を設定した。

6 月は、教科ごとの重点目標と課題を検討し、小学校・中学校での授業改善・指導の充実を図ることとした。

10 月は、小学校と中学校の授業から、重点目標の達成に向けた具体的な課題と指導の改善・工夫について検討した。

分科会	実施したい「目指す 15 歳の姿」に向けての具体的な取組
国語	<p><課題>●語彙力が少ない。</p> <p><ねらい>●生活言語や学習の基盤となる語彙力を育てる。</p> <p><手だて>●「話す聞く」「読む」「書く」の学習で身に付けた語彙力を日常的に使える力を身に付ける。</p>
社会	<p><課題>●小学校と中学校とで、ICTの活用や授業の進め方に差がある。</p> <p><ねらい>●友達と意見を共有し考えを深める。</p> <p><手だて>●興味・意欲を高めていく教材開発をする。意見を聞き合うグループ学習に取り組む。</p>
算数・数学	<p><課題>●自分の考えの根拠を明らかにして表現する力</p> <p><ねらい>●様々な数学的な表現を用いて、説明する。</p> <p><手だて>●自分の考えの根拠(図や表、式や言葉、既習事項等)を明らかにし表現する場面を設定する。</p>
理科	<p><課題>●実験の経験が乏しく、実験器具の操作の習熟が必要。(特に、小学校では使用せず、中学校で使用する実験器具など。)</p> <p>●「地球分野」で実感を伴う理解が難しい。興味をもたせることが必要。</p> <p><ねらい>●理科の学習に意欲がもてるような授業展開を工夫する。</p> <p><手だて>●身近なタブレットを活用した観察などをする。宿題で、「月を3回撮ってくる」のようなものを課すと自分事になる。ニュースを取り上げる。地学については、再現できるものは、理科室で再現実験をするなどの教材研究を行う。</p>
音楽	<p><課題>●コロナ禍で音楽の授業に制限がある中、声の出しやすい低中学年で声を出していないことが影響し、表現の工夫が深まらない。声の出し方などを今学んでいる状態である。</p> <p><ねらい>●行事に向けて各校でしっかり取り組ませる。</p> <p><手だて>●小学校の頃から9年間を見通して指揮や伴奏ができる児童生徒を育てていく。音楽が楽しめるように育てていく。</p>
図・美・技家	<p><課題>●発想の広がり、工夫、表現の深まりに課題がある。</p> <p><ねらい>●友人と関わりながら様々な感じ方や考え方を共有し、発想力・表現力を高める。</p> <p><手だて>●友人と一緒に考えたり工夫したりする活動や制作・表現の題材開発と実践を行う。</p>
保体	<p><課題>●授業の中で児童・生徒が互いに教え合う時間を作る必要がある。</p> <p><ねらい>●児童・生徒が互いに教え合うことで主体的に課題に取り組み、解決できるようにする。</p> <p><手だて>●教え合い言葉集など、児童・生徒がどのような声掛けをすればよいのか分かりやすいように資料を作成する。ICTを活用していく。自分の動きを撮影する。個人のめあてや振り返りを行う。作戦ボードの代わりに使う。教え合いの時間を確保する。</p>
英語	<p><課題>●自分の思いや願いを表現したり伝えたりすることに課題がある。</p> <p><ねらい>●相手を意識した発信力を高める。</p> <p><手だて>●自分の思いを伝えたい目的や場面、状況を設定し、工夫して言語活動に取り組む。</p>

いじめ・不登校	<p><課題>●不登校状態に変化がないと情報共有されるタイミングがなく埋もれてしまうことがある。</p> <p><ねらい>●不登校経験のある児童を確実に引き継ぎ、スムーズに支援できる体制を築く。</p> <p><手だて>●各校で、不登校のきっかけや経過、家庭との連絡状況等について記録を残し、不登校状態が解消した児童も含め中学校に引き継ぐ。</p>
---------	--

2 小中一貫教育の取組プログラム

知・徳・体を柱とする「目指す 15 歳の姿」の実現に向けて、学年別取組プログラムを検討し作成した。児童・生徒の発達段階や授業での指導などを加味して、どの授業でも実践可能な内容を目指した。

小中一貫教育の取組プログラム			
	知	徳	体
中学校 3 年	基礎・基本の学習を身に付け自ら考え実行できる力を育てる	自他ともに理解し、規範意識をもって行動できる力を育てる	心と身体を鍛え、将来への夢や希望をもてる力を育てる
中学校 2 年	基礎・基本の学習から身に付けたものを生かして、自ら考える力を育てる	自他の理解から、正しく適切な判断ができる力を育てる	心と身体を整え、自己を認め自分の価値を認められる力を育てる
中学校 1 年	基礎・基本の学習を身に付けるために、日々の家庭学習をしっかり定着させる	自分と他者を幅広く偏らずに理解できるようにさせる	豊かな心と健康な身体から、生き生きと生活していく力を育てる
小学校 高学年	未知の事柄や人の話に興味・関心を持ち、自分の考えをもって表現する力を育てる	互いに認め合い、友だちと協力して仲良く活動できる力を育てる	意欲を持って運動し、目標に向かって工夫しながらやり抜く力を育てる
小学校 中学年	未知の事柄や人の話に関心をもち自分の考えを広げる力を育てる	互いに認め合い、友だちと協力して活動できる力を育てる	すすんで運動し、目標に向かってがんばる力を育てる
小学校 低学年	知らないことや人の話に関心を持って考えることができる力を育てる	友だちと仲よくいっしょに活動できる力を育てる	すすんで運動に取り組んでがんばる力を育てる

3 今年度の取組日程

日程	取組内容
6 月 5 日(水)	校区别協議会①光が丘第三中学校
9 月中	光が丘第三中学校、光が丘夏の雲小学校 あいさつ運動
10 月 30 日(水)	校区别協議会② 光が丘秋の陽小学校
2 月中	各校ごとに今年度の成果・課題を報告・共有



4 今年度の成果と今後の方向性

実際に授業を見合えるようになり、分科会ごとに対面での意見交換や検討を行い、問題点や課題、成果を共有できた。特に、教科ごとに「目指す 15 歳の姿」の実現に向けた手だてが見えてきた。また、「目指す 15 歳の姿」の柱となる知・徳・体の 9 年間を通した取組プログラムを策定できた。

教科ごとの「目指す 15 歳の姿」実現への具体的な指導のあり方を共有して実践していくことが来年の課題である。

